

全国市町村長サミット 2016 in 石川

地域の 元気創造

参加
市町村長
募集



©輪島市
白米千枚田



©石川県観光連盟
上生菓子



鼓



©石川県観光連盟
九谷焼



©石川県観光連盟
木場湯から見た白山



金沢和傘



兼六園



輪島塗

日程

平成28年
11月21日(月)・22日(火)

会場

ホテル日航金沢
石川県金沢市本町2-15-1 (JR金沢駅兼六園口前)

11月22日は現地視察

募集人員に達した時点で、
受付を終了させていただきます。

プログラム

- 11月21日(月)
- 基調講演 …………… 神野 直彦 (東京大学名誉教授)
 - 分科会 …………… ① 地域を変えていく新しい力(地域おこし協力隊)
② 地方への新しいひとの流れをつくる(移住(交流))
③ 地域の力をつなぐ(地域運営組織)
 - 全体会総括 …………… パネルディスカッション
 - 市町村長交流会
- 11月22日(火)
- 現地視察 …………… コース①▶能登コース
コース②▶加賀コース

地域の 元気創造

参加
市町村長
募集

人口減少の到来、地域間格差の拡大、コミュニティの脆弱化など難しい課題に直面している中であって、日本経済の再生に向けて、地域の活性化を図っていくことが求められています。このため、全国の市町村長等が一堂に会して議論・交流を行うことを通じて、地域活性化の一層の進展・普及を図ることを目的に、全国市町村長サミット2016 in 石川を開催いたします。開催にあたり、全国の市町村長の方々、自治体職員や市民の方々等の一般参加者を募集いたします。

11月21日(月) 13:00~17:10

12:00 受付

13:00 全体会 総務省挨拶／開催地挨拶

13:10 ~ 14:00 **基調講演** 神野 直彦 (東京大学名誉教授)

14:15 ~ 15:55 **分科会** 3つのテーマの分科会に分かれ、各分科会のコーディネーターと発表される市町村長の方々に取組事例の発表と意見交換を行っていただきます。

【第1分科会】 **地域を変えていく新しい力** (地域おこし協力隊)
コーディネーター 関司 直也 (法政大学現代福祉学部 教授)

【第2分科会】 **地方への新しいひとの流れをつくる** (移住 (交流))
コーディネーター 藤山 浩 (島根県中山間地域研究センター 研究統括監)

【第3分科会】 **地域の力をつなぐ** (地域運営組織)
コーディネーター 作野 広和 (島根大学教育学部 教授)

16:10 ~ 17:10 **全体会総括** パネルディスカッション

各分科会での議論を踏まえて、総括コーディネーター、分科会コーディネーターで議論・検討を行います。

総括コーディネーター 受田 浩之 (高知大学地域連携推進センター センター長)

17:25 ~ 18:35 **市町村長交流会** 市町村長等による意見交換、情報交換の場として交流会を実施します。(参加費4,000円)

11月22日(火) 現地視察

※能登コース参加者は、昼食のお弁当代として当日1,000円をいただきます。

コース① 能登コース

9:00 JR金沢駅発
9:30 西田幾多郎記念哲学館
11:30 邑知の郷公園
14:25 能登ワイン
15:50 能登空港着
17:25 JR金沢駅着
18:25 小松空港着

西田幾多郎記念哲学館(かほく市)



かほく市出身の日本を代表する哲学者・西田幾多郎博士の業績やゆかりの品を紹介しながら、哲学を身近に分かりやすく解説し年間豊富な哲学講座を開催する、世界的にも珍しい「哲学の博物館」。建物の設計は安藤忠雄氏で、哲学の博物館らしい「思索」と「対話」の場所を随所に演出。

邑知の郷公園(羽咋市)



市民農園、自然の社、多目的広場などからなる面積約80,000㎡の公園。その一部が「の」と里山農業塾」の実践園場となっており、環境に優しい農業の理念と技術を学ぶ研修所がある。また、自然・水・農業・スポーツをテーマとした4つのゾーンで構成され、子どもからお年寄りまで楽しめる憩いの場となっている。

能登ワイン(穴水町)



平成16年に町の出資を受けて設立されたワイン醸造会社。日本海側最大の葡萄畑を所有し、自然に恵まれた能登の風土や気候を利用して、本格的な生ワインを製造。国産ワインコンクールなど受賞多数。

コース② 加賀コース

8:15 JR金沢駅発
8:30 金沢城公園
10:25 日用苔の里
12:00 JR小松駅着
12:45 JR金沢駅着

金沢城公園(金沢市)



加賀前田家の居城であった金沢城は、明治以降は陸軍の拠点、金沢大学のキャンパスとして利用された。大学の移転に伴い、平成8年からは石川県の歴史文化を象徴する都市公園として、史実に沿った本物志向で建造物の復元整備等を進めている。

日用苔の里(小松市)



小松市の里山地域にある7世帯が暮らす集落。自然と共生する代々の暮らしのなかで苔が生じた、日本有数の苔の名所。多様な苔むす庭園や銘木「日用杉」の林、古民家など、日本の美しい原風景が残る、全国農村景観百選にも選ばれている。



JR金沢駅(鼓門・もてなしドーム)

各コースとも募集人員に達した時点で、受付を終了させていただきます。

参加ご希望の方は、希望される分科会の番号(左記参照)、交流会・現地視察参加の有無と希望コースを下記申込書に記入の上、ファクシミリにてお申し込みください。(申込多数の場合は、ご希望に添えない場合があります。)締切後、10月中旬を目途に、参加分科会等をお知らせする参加証等を郵送します。

- 参加対象者 市町村長、自治体職員、地域づくり団体関係者の方々の他市民の方々等の一般参加者を募集いたします。
- 参加費 サミット：無料 / 市町村長交流会：4,000円

お申し込みの流れ

- 1 | 参加申込書のFAX送信 (送信先番号) **FAX:076-262-5602** 申込窓口業務委託業者:株式会社JR西日本コミュニケーションズ
- 2 | 参加証等の発送 参加分科会等の調整後、申込書記載の連絡先宛に参加証等を郵送します。(10月中旬)
- 3 | 参加費用の振り込み 市町村交流会に参加される方については、参加費用をご負担いただきます。支払い方法は上記 | 2 | 記載の口座への振り込みとなります。(振り込み費用はご負担ください。)
- 4 | 当日来場受付 参加証をお持ちください。

参加申込書

申込締切日:平成28年10月7日

連絡担当者名	ふりがな	連絡先住所	〒		-			
TEL		所属						
FAX		E-mail						
	氏名	職名	分科会(11/21)			交流会 参加	現地視察(11/22)	
			第1希望	第2希望	第3希望		第1希望	第2希望
1	ふりがな							
2	ふりがな							
3	ふりがな							
4	ふりがな							
5	ふりがな							
記入例	ふりがな いしかわ たろう 石川 太郎	〇〇市長	③	②	①	○	②	①
サミットの当日、参加していただいた市町村用のPRスペースを検討しております。PRスペース希望の有無を右欄にご記入ください。(スペースの都合により、調整させていただく場合がありますので、ご了承ください。)							PR希望	

申込等の個人情報については、本サミットに係わる目的以外での利用はいたしません。

申込窓口 株式会社JR西日本コミュニケーションズ 担当:飯田 〒920-0031 石川県金沢市広岡1丁目1-18 伊藤忠金沢ビル2階
TEL 076-262-5606 FAX 076-262-5602

宿泊申込窓口 宿泊をご希望の方は、直接お問い合わせください。

ほっこく観光 担当:高井
TEL 076-263-3565 平日9:30~18:00

金沢マンテンホテル駅前 1泊9,800円 (〒920-0022 石川県金沢市北安江1-6-1)
※宿泊ルームは十分に準備しておりますが、数に限りがございます。お早めにご予約ください。

お申し込み

基調講演



神野 直彦 東京大学名誉教授

1946年埼玉県生まれ。大阪市立大学助教授、東京大学教授、東京大学経済学部長、関西学院大学教授、地方財政審議会会長などを経て、現在東京大学名誉教授。専攻は財政学。著書に『地域再生の経済学』（中央公論新社、2002年）、『「分かち合い」の経済学』（岩波書店、2010年）など。

分科会

第1分科会

地域を変えていく新しい力（地域おこし協力隊）



コーディネーター 関司 直也 法政大学 現代福祉学部 教授

1975年愛媛県生まれ。東京大学農学部を卒業し、東京大学大学院農学生命科学研究科農業・資源経済学専攻に学ぶ。2005年に同研究科博士課程を単位取得退学。博士（農学）。財団法人日本農業研究所研究員、法政大学現代福祉学部専任講師、准教授を経て、2016年より現職。（財）地域活性化センター・地域リーダー養成塾主任講師、地域振興・人材育成に関するアドバイザー等を歴任。専門分野は、農山村政策論、地域資源管理論。主な著書は、『地域サポート人材による農山村再生』（筑波書房）、「人口減少社会の地域づくり読本」（共著：公職研）、「田園回帰の過去・現在・未来」（共著：農山漁村文化協会）、「農山村再生に挑む」（共著：岩波書店）など。

事例発表者

- ◆ 梶 文秋 石川県輪島市長
- ◆ 太田 洋 千葉県いすみ市長
- ◆ 首藤 勝次 大分県竹田市長

第2分科会

地方への新しいひとの流れをつくる（移住（交流））



コーディネーター 藤山 浩 島根県中山間地域研究センター 研究統括監

1959年島根県生まれ。一橋大学経済学部卒業。1998年より全国初の島根県中山間地域研究センターに勤務。2009年島根県立大学連携大学院教授（兼務）。2013年より現職。博士（マネジメント）。内閣府まち・ひと・しごと創生本部「地域運営組織に関する有識者会議」委員など国・県委員多数。著書に「田園回帰1%戦略～地元へ人と仕事を取り戻す」（2015年、農文協）など。専門は、中山間地域論、地域マネジメント、地域人口分析、地域経済論

事例発表者

- ◆ 持木 一茂 石川県能登町長
- ◆ 村瀬 優 北海道広尾町長
- ◆ 大久保 憲一 長野県根羽村長

第3分科会

地域の力をつなぐ（地域運営組織）



コーディネーター 作野 広和 島根大学 教育学部 教授

1968年島根県生まれ。広島大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学、同大助手、島根大学准教授を経て、2014年より現職。専門は農業・農村地理学、過疎・中山間地域論、GIS。総務省「地域運営組織の形成及び持続的な運営に関する研究会」委員、農林水産省鳥獣害対策アドバイザー、島根県中山間地域研究センター客員研究員等。

事例発表者

- ◆ 酒井 梯次郎 石川県能美市長
- ◆ 中田 八郎 認定特定非営利活動法人 えんがわ代表理事
- ◆ 亀井 利克 三重県名張市長
- ◆ 中貝 宗治 兵庫県豊岡市長

全体会総括 パネルディスカッション



コーディネーター 受田 浩之 高知大学地域連携推進センター センター長

1960年北九州市生まれ。九州大学（農学博士）
1986年8月九州大学助手農学部、1991年4月高知大学農学部助教授、2004年12月同教授、2005年5月から地域連携推進本部長兼務、また2005年7月から（旧 国際・地域連携センター）現 地域連携推進センター長、2006年4月から副学長（地域連携担当）兼務。2015年4月より、地域協働学部教授。1990年農学博士（九州大学）、1991年～1992年ドイツ国立バイオテクノロジー研究所（GBF）客員研究員。1995年度日本食品科学工学会奨励賞受賞、1998年度日本分析化学会フローインジェクション分析研究懇談会進歩賞受賞、2008年度同学術賞受賞。

パネリスト

- ◆ 関司 直也 法政大学 現代福祉学部 教授
- ◆ 藤山 浩 島根県中山間地域研究センター 研究統括監
- ◆ 作野 広和 島根大学 教育学部 教授
- ◆ 神野 直彦 東京大学名誉教授

●分科会終了後、分科会での議論をふまえて、全体会総括にてパネルディスカッションを行います。